

広島A I プロセスに関するG 7 首脳声明

2023年10月30日

我々G 7 首脳は、高度な人工知能（A I）システム、特に、基盤モデル及び生成A I がもたらす革新的な機会と変革の可能性を強調する。我々はまた、リスクを管理し、人間を中心に据えつつ、個人、社会、並びに法の支配や民主主義の価値を含む我々の共有された原則を守る必要性を認識する。我々は、これらの課題に対応するためには、A I のための包摂的なガバナンスを形成することが必要であることを確認する。2023年9月7日に発出されたG 7 デジタル・技術閣僚声明を含む、関係閣僚による広島A I プロセスの進展を基礎とし、我々は、「高度なA I システムを開発する組織向けの広島プロセス国際指針」及び「高度なA I システムを開発する組織向けの広島プロセス国際行動規範」【添付】を歓迎する。両文書は、これらが引き続き目的に適い、かつこの急速に進化する技術に対応したものであることを確保するため、進行中の包摂的なマルチステークホルダー協議を通じたものを含め、必要に応じて見直され、更新される。我々は、高度なA I システムを開発する組織に対し、国際行動規範の適用にコミットするよう求める。

我々は、関係閣僚に対し、A I に関するグローバル・パートナーシップ（G P A I）及び経済協力開発機構（O E C D）との協力の下、プロジェクトベースの協力を含め、「広島A I プロセス包括的政策枠組」の年内の策定に向けたプロセスを加速させること、また、G 7 のみならず、開発途上及び新興エコノミーを含むG 7 を超えたエコノミーの政府、学界、市民社会及び民間セクターを含むマルチステークホルダーへのアウトリーチ及び協議を実施することを指示する。我々はまた、関係閣僚に対し、広島A I プロセスを更に前進させるための作業計画を年末までに策定するよう求める。

我々は、広島A I プロセスを通じた我々の共同の取組が、デジタルデバイドの解消及びデジタルの包摂性の達成の観点から、開発途上及び新興エコノミーを含む世界中の共通の利益のために、リスクを軽減しつつ、技術の利益を最大化するため、安全、安心で信頼できるA I システムが設計、開発、導入及び利用されることを可能とするような開かれた環境を促進すると信じる。我々はまた、11月1日と2日の英国のA I 安全性サミットに期待する。